

会 議 の 経 過

1 開 会 午後3時00分

(小椋教育長) これより第2回倉吉市教育委員会定例会を開会する。

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員の選出 高橋委員

4 議 事

(1) 議案第5号 消費税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(資料に沿って、各課長説明)

教育長 何かご質問はございませんでしょうか。

委 員 消費税分だけ上がるということですか。消費税が8%から10%に上がる分だけ上がるということよろしいですか。

事務局長 そうです。

教育長 その他ございませんでしょうか。

(各委員意見なし)・・・承認

5 協議事項

(1) 平成31年度倉吉市の教育方針と重点施策(案)について

(資料に沿って、各課・館・所長説明)

教育長 何かご質問はございませんでしょうか。

委 員 「家庭・地域と連携した開かれた学校づくり」、昨年と変わったところはないわけですが、1つ気になるのが、地域学校委員会の充実というところで、実態はどうなのか。充実していると思うのですが、気になる声を聞いたことがあるので、学校委員会というのは校長先生が主になって、学校をよくするために地域の方などに声をかけてそういったことを決められていると思っっているのですが、本当にそれに則した状況になっているのかと気になるころがありまして、もちろん充実していかなければいけないのですが、それに関わる委員の出席やそういったことにちょっと心配な部分を耳にしました。

学校教育課長 地域学校委員会につきましては、だいたい年5回ぐらい開いていただくようお願いしております。学校評価もこの地域学校委員さんに関わっていただきながら、評価もしていただいているところです。あるいは地域の各ボランティア事業の学習に入っていたり、というようなこともありますので、そういった協力依頼もしていただいているところです。ただ、昨日、学校教育審議会を開きまして、問題になっておりますのが、「教育を考える会」のあり方について、検討してみることが必要ではないかと言われております。そこは事務局でも考えて、学校へどういったあり方が良いのか説明していきたいと考えております。

教育長 全般的にはコミュニティスクールという認識も少しずつ、こちらも広げていこうとしておりますし、それぞれが工夫していただいて、動かしていただいていると思います。気になることがあればお願いします。

- 委員 今、お話のあった「教育を考える会」のあり方について、どのような意見があったのでしょうか。
- 学校教育課長 今までは、「教育を考える会」は自治公が主体になっていたのですが、この地域学校委員会を立ち上げることによって、地域学校委員会が「教育を考える会」の実行委員会ということで、参加者を集めることが難しくなっているので、どちらが主体になればいいのだろうかといったご意見をいただいております。
- 委員 どちらがというのは、どこでしょうか。
- 学校教育課長 以前のように、自治公が主体になるのか、そうではなく、地域学校委員会が主体になって集めるのがいいのか、といったところです。保護者の方や地域の方が集まりにくいというのが現状ではないかと思います。
- 教育長 昨日段階では、あまり線引きをしない方がいいと思っておりますと伝えました。それぞれの地域で動かしやすいように動いてくださっていると思うので、それを本気で考えるのであれば、根底から協議した方がいいと思います。今段階であちらだ、こちらだと言わない方がいいと思っております。あわせて、中身です。昔は、小学校の取り組み状況、中学校の取り組み状況、それぞれ発表して、それについて、いくつかのグループに分かれて協議するというようなこともなされていたようですが、最近では、いずれかから講師的な方呼んでこられて、お話を聞いて終わりというようなこともあって、ちょっと形骸化してないか、というようなお気持ちなのではないかと思います。
- 委員 確かに、最近小鴨では講師を呼んで講演会というのをされていましたが、地域学校委員会が中心になるのだけでも、小鴨公民館もそこに協力していこうとしていますので、公民館の事業と一緒にしていただいたので、小鴨の場合はそんなにどっちが主というわけではないです。メンバーの中に入ることになっておりますから、そこまではなかったです。
- 教育長 そういうやり方の方が、変に負担がない。一緒にするのだからと皆さんが思っただけなのであれば、その方がよりいいのではないかと私は思います。
- 委員 地域の子どもたちのことをいろいろ考えていきたいと思いますという取り組みだったと思うのですが、小鴨の場合はそれを崩してはいないと思います。
- 委員 社も「ペ」の取り組みを発表するというので、地域としてしようということでしたが、最終的には学校側であっても地域であっても、子どもたちにどういうふうに関わっていくかということになるので、先ほど言われたようにどちらの主体でもいいと思いますが、そのあたりをみんながわかっている、「教育を考える会」をすればいいのかなと私も思います。ただ、集まりが少ないみたいです。
- 教育長 安全衛生推進委員会からも中身を検討してもらえないかという話がありましたので、31年度に検討したいと思っております。
- 委員 今、4年ですから次の5年計画もあるのでしょうか。委員活動が多いのではないですか。皆さんはわかっておられるかもしれませんが、保護者になって、わかるころには子どもが卒業するとか、携わっていないものから見れば、何がどうなってどう関連しているのかとか、正直わかりません。私も理解が不十分なのですが、そのあたりのことを理解していかないといけないのか、委員会が多いのか、参加者が本当に増えているのか、減っているのか、実態を把握したうえで、よりよい子どもにつながるようなことを考えていってほしいなと思います。

もう一つ、これを元に具体的なものを作っていくということと、1年間の反省を検証されるということで、以前、委員が話しておられたように連続性、継続性をしっかり見ていただいて、本当に今年度は重点的に何をやるのか。やはり目につくのはハード面を直します、補修します。こういったものは成果としてすぐに丸がつけられるのですけれども、それ以外のところで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善で、今年度1年間、学校視察をしました、この学校はよくなっています、でもこの学校は全然だめです、ついては、この学校を重点的にやります、このようにというような、よく皆さんはPDCAを使いますけれども、そういう立てつけで次の計画に向かっていただきたい。有形無形の文化財については例えば観光事業とどうやって結びつけていくのかとか、そういったことも、施策の中に落とし込んでいただくとよろしいのではないかと思いますので、ご検討いただけたらと思います。

教育長

ありがとうございます。

学校教育課長

先ほどご指摘のあったことにつきましては、学校教育審議会でも昨年度のまとめ、報告をさせていただくときにご指摘がありました。昨日の場合は、指摘を受けまして、成果指標というものを作りまして、そこを説明しながら報告をさせていただきました。次回、重点施策に基づく計画の進捗状況の報告がありますので、説明させていただければと思います。

委員

いろいろなものがいっぱい並んでいて、倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成を、これを中心にやっていく、みたいにもう少し、ね。

教育長

表記の仕方ですね。実は、これは学校教育課にいるときに、教育委員会の仕事をA4一枚の紙にどうやったら収まるかということで、これのもとになるものは私が作りました。スペースが限られて、おっしゃるようにほぼ、単語を並べるしかできなかったです。それがここ何年かの間にそれぞれの担当者がいろいろと工夫をしていって、表記も工夫をしています。

委員

毎年、少しずつ変わっています。毎年変わるのですが、やらないといけないなというものは、全部並んでいる。そうなのだけれども、これを核にして、全体を動かしていきたいというものが見えなくて。

教育長

もっと焦点化しますか。

委員

これを直すのは大変だとは思いますが、また次年度に向けて。例えば、豊かな心とたくましい体の育成が必要だと。そのために〇〇を活用して、こういったことをやっていく、みたいなことがないと、どっちに向かっていくのかわからない。

委員

今の話で、難しいのでしょうかけれども、各課の施策が並んでいるのだけれども、テーマがあって、それに向けて各課の施策が向かっていくような、豊かな心とたくましい体の育成には給食センターは何をするのかとか、愛着を持つために学校教育、社会教育で何をするのかとか、そうすると集約されていくのではないかと。難しいとは思いますが。視点をどこに置くかによって。そういった意味合いで作っていただいているとは思いますが、出来上がりとしては各課単位になるかもしれませんが。予算ももちろんそうなるかもしれませんが、考え方としては、教育委員会として大きな骨があって、それに枝分かれしていくような立てつけをしていただくとわかりやすいかなと思います。難しいとは思いますが。

委員

要はあまり分かれすぎると、それぞれ担当のところをしているような感じで、全

体で一つに向かって頑張っていこうという感じが見えるものになればいいのかなと思います。

教育長

組織が大きくなればなるほど、自分の担当のところをきっちりとやればいいのかという傾向にはなると思うのですが、この紙が一枚単体で配ることももちろんあるのですが、この後ろに各課のテーマに基づいた施策が並ぶものの表紙につくということもあるので、造りとしてはこういった形になっているのかなと思います。よいお知恵があればお願いしたいと思います。

委員

それをまとめたものがこの基本方針だとは思いますが。毎年やらなければいけないことは毎年決まったようにあって、それに今年はこれを重点的にやります、というものがもちろんあるのですが、それが何のためにあるのかと言ったら、この目標のためにこれがあるのだということが見えにくい。確かに学力向上・推進、と一言で言ってしまうえばそうなのだけれども、どんな学力を身につけさせたいかという視点があればうれしいなと思います。これを見るとぼんやりしてしまうのです。

例えば、私の職場では今年度の重点目標があって、そのためにいろいろなことをやってみようとするので、その癖がついてしまっているのかもしれない。毎年、ほぼ一緒、ただ、内容を少しずつ変わっているというのが続いているので、みんなが一丸となってというところがないかな、という気がしました。

委員

表ができた時には見やすくなったなと思いました。

教育長

ものすごく広い範疇でやっていることを一枚にまとめないといけないことと、教育と言っても、学校教育と社会教育にどうしても分かれるので、それに基づいてそれぞれ担当課に分けてあって、これを作っただけでも、教育委員会としてのまとまりはこうなのですよとできたと7、8年前は思いました。

委員

例えば、くらし駅伝と事業が書いてあります。それは、開会を成功するように導くのか、社会教育も結びつくように、どのように持っていくのか。小中高の児童生徒をボランティアに参画させて、地域を愛着させるような施策に持っていくのか、ただ単に、毎年の行事を淡々とやっていくのか、もちろんそれも大事だけれども、新たな重点施策ではない。そこは外してしまう。ただ、その中にこういった施策を組むから、いわゆる重点施策の中に入れていきたいと思います。野球場の整備をしましょう、これは、ハードであって、重点施策ではない。きれいになったらどうなるのかとか、利用度を挙げていく、そのためにはどういった形での参画を促すのか、そういった方に持って行ってほしいなと考えます。再来年度に向けてご検討ください。図書館がやっておられるように県全体の中での農業の取り組みの中で展示コーナーを作って講演会もされて、そういった中で、倉吉の地域力向上のために図書館として、どういうふうに公民館を通じて社会教育が働きかけて集まってもらおう。その中に小学校が入っていく。中学校が入っていく。こういった取り組みになっていくといいのではないかと思います。

学校教育課長

学校教育課の場合は、確かにここでは事業しか記載していません。わかりにくいということで、毎年、年度初めに要覧をつくらせていただいて、先ほど委員さん方がおっしゃられていたこと、どういったことに取り組んでいくか、詳しく記載したものを作成させていただいているところです。

教育長

どこまで工夫できるか、1年後また同じような形かもしれませんが、検討はそれぞれいたします。

(2) 小学校適正配置協議会設置要綱について

(資料に沿って、学校教育課長説明)

- 教育長 何かご意見はございますか。
- 委員 第2条のところ、それぞれ名簿が出てきたら、全部が一緒というわけではなくて、こちらが示しているところで協議ということですか。全部一緒ですか。
- 学校教育課長 最初は全体でというふうに考えておりますが、全体でなかなかまとまらないところについては、グループということになると思います。
- 委員 それは向こうのご意見があつて、ということですか。
- 学校教育課長 はい、そうです。
- 教育長 ここまでこぎつけるのは大変でした。5月から11回ぐらいあちらこちらに出て行きました。ずっとやり取りをしながら、ようやく3月末までには委員を出しましよつうというところにまでこぎ着けたので、その他の地域の皆さんは小学校の適正配置はなくなったのではないかと思われているかもしれません。仕切り直しの可能性もありますが、進めなければいけませんので。
- 委員 要綱の第2条で、「各小学校に」とした方が良いのではないのでしょうか。
- 教育長 小学校ごとに適正配置協議会を設置するわけではなく、「適正配置について協議、調整するために適正配置協議会を設置する」のです。その時に関係の小学校がそこに書いてある小学校なのですよ、という意味で、最初から〇〇小学校と〇〇小学校の協議会という表記はやめてください、ということです。
- 委員 全部の小学校をひっくるめての適正配置協議会を設置する。
- 学校教育課長 スタートはそうです。各小学校区に限定しないということです。
- 委員 学校を外してしまつて、該当校区はここですよとするのか、上灘、河北、上北条等も含めたところで適正配置計画をする、でもいいのではないのでしょうか。具体的な組み合わせをつくらないでくれということでしょうか。そういう趣旨で直されたらということ、後はお任せでもいいです。
- 教育長 表記はまた考えさせてください。ありがとうございます。
- その他ありませんか。
- (各委員意見なし)・・・承認

6 教育長報告

教育長報告

- 委員 研修派遣は積極的でいいことだと思うのですが、研修に行つて帰られた方が、それなりの実績を上げてきておられるのかどうか、どういふふうに判断するのですか。
- 教育長 よくわかるのは、研修が終つて事務局の指導主事になった。これは力が認められたということになりますので、よくわかるのですが、私が一番課題だと思っているのが、特別支援の研修は半年や一年と結構出ております。そこに行つた教員が帰つた時に自分のスキルだけで留まっていなかつたか、という思いがすごくあつて、そうではなく、学校全体の特別支援の主任だとか、マネジメント的な分掌にきちんと配置されているとか、せめてそういったことがないと。あるいは、通級指導教室の指導ができるぐらいの勉強をしてきましたとか、そういったことがないといけなかつたのではないかと思います。あとは、教職大学院に行く先生もいるのですが、これは将来的に管理職を目指

していく。指導主事などを含めてそうですが、東中の若手でこれから、という方にも行ってもらいましたが、帰ってきてそれぞれの学校の核となって動いていますので、それなりの成果はあると思っております。管理職への意識が変わって帰ってくる方もいます。全部ではありませんが。そういう意味で効果はあると思います。

委員 おっしゃるように、周りへの影響力を発揮していただいて、底上げを図っていただいて、全員がいけるわけではないので、そのあたりの検証もしていただければと思います。

委員 積極的な派遣への立候補は、今の人は管理職にならなくてもいいという雰囲気があって、なかなか育っていないのかなどこの会社でも見える。先生も、将来そういった方を育てていかないと各学校の管理職のなり手がなくなっているのだけれども、管理職はこういうものだということも学校でしっかりと教えていかないと、なかなか難しいのではないかと思います。その辺りも含めて、積極的な立候補がもっとあればいいのですが。

教育長 今年は、中部で中堅教員のそれぞれ核となる人を学校から推薦してもらったところでは、管理職の楽しさや魅力を伝えるような研修をさせてもらいました。やはり、いいことも伝えないとなる人がありません。

7 報告事項

○平成 31 年度当初予算及び主な事業概要・予算額について

委員 2月の成人式の実行委員会の反省会ということで、記念写真のことを先ほど言われましたが、するのかもしれないのかどちらになりましたか。

生涯学習課課長補佐 することになりました。

委員 それは、反省会の中で成人者の意見で、やはりする方がいいということになったのですか。

生涯学習課課長補佐 それはこれから聞くのですが、市の思いとして、そういったことを残していく必要があるのではないかということになりました。

委員 わかりました。

委員 「放課後子ども教室推進事業」の通学合宿と、補導センター事業への参画等の事業内容について教えてください。

生涯学習課課長補佐 通学合宿についてですが、例えば成徳地区がやっておりますのが、スポーツセンターに宿泊して4～5日間、そこから学校へ通うというものです。これをしているのが、高城と成徳の2地区だと思います。

委員 地区がやりたいと手を挙げてされると。

生涯学習課課長補佐 はい、それぞれです。

委員 希望者のみですか。効果はどうですか。何を目的にしておられるのですか。

生涯学習課課長補佐 希望者のみです。集団生活とか、家にいると親が当たり前にしてきていることが自分たちだけの生活になった時に、こんなに大変なのだということが実感できるということが大きなメリットだと思います。

委員 できれば、交流してやってもらえたら、さらに効果が上がるかなと。学校単体ではなく、多様性を学ぶにはどこかの学校と一緒に学ぶと、希望者が集まるとか、学年でやるとか、そういったことがいいのかなと。学校教育課と連携できるのではないかと思います。それから、「補導センター事業への参画」の事業内容はどのようなもので

しょうか。

生涯学習課課長補佐

補導センターは警察の管轄の中で中部地区の市町村がそれぞれ負担金を出し合って運営しており。その負担金です。補導センターと青少年との連携ですが、健全な青少年を育てていかなければいけないということで、地域を回ったり、見回りをしたり、今でいうと携帯の問題もありますし、そういったところをPRしております。

委員

教育総務課の中で、プロジェクターの整備計画ができていなくて予算がつかなかったということですが、各教室においてICT教育を進めていく中で、予算がつかないときになくなるということはないでしょうか。

教育総務課長

このプロジェクターの設置というのは、実はプロジェクターはあるのですが、それを固定するというので、設置するのに数分かかってしまうということがあります。授業への準備を簡素化することですぐに授業に取り掛かっていける体制が必要だろうということで、寄附のお話がありまして、ただ、それでも足りない2台分のプロジェクターと現にある固定されていないプロジェクターを設置するというので、挙げていたのがこの予算であります。ヒアリングの中でありましたのが、プロジェクターはどうしても古くなっていくということがあります。プロジェクターを含めた、ICT環境をどうするのかという計画を示してください、ということがありました。これについては、もう少し精査する必要があるということで、それを精査して、できれば補正予算で、まずはプロジェクター完全設置と固定を考えている状況です。ですので、プロジェクターがメインではなく、固定がメインです。

委員

図書館の子育て講演会、30周年を迎えられて、毎年、著名な方を呼んで講演会をされているのですが、30周年となると、いろいろとアイデアがあると思います。毎年しているのはもちろん、それも大事なのですが、特に30周年の記念だから、思いがあると思います。それで講演会をして、子どもが本を通して、豊かな心が育っていくということが大きな目標だと思うのですが、毎年来られる方以外に輪を拡げた会にしてほしいなと思います。読み聞かせの方やいろいろな方にお世話になっているので、やはり今までそういった関わり方をしてくださった方と一緒に、よりよい講演会になればという思いがありますし、そういった声も少ないですが聞いておりますので、毎年する講演会より豊かなものになるように検討していただければありがたいと思います。

図書館長

記念事業については、まだまだ検討するところがあると思うのですが、実は30周年になります。新しい企画も出ておりますし、他のボランティアさんにもおいでいただきながら、学校さんにも相談しながら、企画を練っていきたいと思います。

委員

楽しみにしております。

委員

学校教育のところ、確認ですが、倉吉市の教育方針と重点施策の中で、「よりよい倉吉教育をめざして」のところ、特別支援教育の充実、幼保小連携の充実などの流れを受けて、幼児教育の充実のところ、予算が30万組んであるという理解でよろしいでしょうか。それから、「豊かな心の育成」の中でhyper-QU、これはいじめ関係のアンケートですね。その中で、全体としては前年度と同じ予算額ですが、いじめ対策に重点を置くという中で、予算が前年と同じというのはどうなのか。これでできるならいいのですが、後はソフトの問題であって、お金のかからないところ、できるというのであれば、それはそれでいいです。

それから、指定文化財保存整備の中で、31年の予算が2,100万で30年度が1,300

万で、約 800 万増えているのは何か、もう一度確認させてください。

学校教育課長

幼児教育の予算につきましては、家庭教育も含めた全体のところで記載させていただいておりますが、こういった記載の仕方になっているのが、学校教育課は要覧を作っております、それに基づいてこういった書き方になってしまっています。

不登校対策のところは、今年度の取り組みを踏まえて、ハード面でもつけさせていただいておりますし、引き続いて市長復活させていただいたのが、教育相談の研修のところでは、ここに予算が 50 万ついておりませんでした、効果があったということで復活させていただいております。

文化財課長

文化財課の予算額が上がっている原因ですが、小川家住宅と小川氏庭園と桑田家住宅にあります。小川家住宅の修繕と小川氏庭園は南山壮の躯体修理が本年度だったのですが、来年度は壁を作って形を仕上げていきますので、額が上がっております。桑田家住宅は、今年度は不陸調整をしまっすぐ立ち上がったのですが、雨漏りが発生しまして、お茶室の雨漏りと、駅前通りに白壁がありますが、その壁の崩落が始まっております、急遽そのあたりの修理も必要になったためです。

○教育総務課

- (1) 区域外就学・校区外就学の承認について

○学校教育課

- (1) 不登校・問題行動の状況について（不登校対策の取り組み）
- (2) 第 2 回学校教育審議会について

教育長

ここからは、個人情報が含まれますので非公開とさせていただきます。

[以下非公開]

[以下公開]

○生涯学習課

- (1) 倉吉市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

○文化財課

- (1) 文化財防火デー消防訓練について
- (2) 第 32 回倉吉学講座「旧牧田家住宅付属屋の調査と修理」について
- (3) 史跡大御堂廃寺跡保存活用計画について

○倉吉博物館

- (1) 博物館講座「古記録に学び、記憶を伝えよう」事業報告

○図書館

- (1) 第 7 回山上憶良短歌賞受賞者と表彰式について
- (2) 農業関連講演会の実施について

○その他

(1) 市民からの声対応状況について

8 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成31年3月12日（火）午後6時00分

場 所：倉吉市役所 第3会議室

午後4時50分終了

9 閉会